



**市内の盛土
緊急点検の結果は**
杉田 勝典（公明党）



問／土石流特別警戒区域の緊急点検の結果は。
答／市内29か所が緊急点検対象になったが、地形改変は確認されず、直ちに土砂災害につながる危険性はないとの報告を受けた。また、市独自に危険性の高い1・2区域で緊急巡視を行ったが、土砂災害を誘発する地形変状は確認されなかった。引き続き、国の進める総点検と連携し、安全性の確保に努めたい。

「プッシュ型行政サービス」の現状や課題は

問／デジタル技術をいかした申請漏れ防止策は。
答／既に同サービスとして公式アカウント・LINEによる市政情報発信を約1万人が活用している。今後、申請をオンラインで受け付け、決定内容をプッシュ型で知らせるなどの更なる活用で申請漏れ防止につなげる。利用者が希望する情報のみを選別し配信するセグメント配信も取り入れることで、一人一人のニーズに合った情報配信も可能になる。

J Aの休耕田でのヨモギ試験栽培の可能性は

問／ヨモギなどの薬用作物の栽培の可能性は。
答／お灸のもぐさや酵素ドリンク等の健康食品の原料として需要もあり、JAによるヨモギ栽培の有効性検証の情報共有し検討を進めたい。



**異常気象による
豪雨災害の対応は**
こたじけなく 彰治（市民クラブ）



問／異常気象による災害が起きている。各種ハザードマップの見直しは検討するのか。
答／洪水ハザードマップは、想定する降雨の規模を「千年に1回降る大雨」に変更した。その他のハザードマップも随時作成更新している。
問／豪雨対策としてのインフラ整備も急を要するが、考えを聞きたい。
答／保倉川放水路整備や儀明川ダムの建設など国・県による大規模な事業を推進するプロジェクトが策定された。また、市もインフラ整備など必要な治水対策を進める。

交通安全対策の徹底を

問／千葉県八街市の飲酒運転死傷事故を受け、事業者などにどのような指導や啓発を行ったか。
答／交通安全計画の重点課題に「飲酒運転根絶」を盛り込み、注意喚起を進めてきた。今後もし上越警察署や安全運転管理者協会などの関係機関との連携を緊密にし、取組を進める。

ふるさと納税に上越産品の活用を

問／返礼品として上越産品を加える考えは。
答／市の施策や事業への共感、将来への関心を持ってもらうことに重点を置いている。実際に訪れるきっかけになるよう、観光施設の入場券や列車の乗車券などを返礼品として贈っている。



**佐渡観光と小木直江津航路
維持に向けて**
江口 修一（創風）



問／佐渡金銀山の世界遺産登録の進捗状況はどうか。
答／令和5年夏頃には決定される。
問／小木直江津航路の必要性についての市の考えは。
答／関西方面や中部方面からの観光客を迎える新潟県の西の玄関口として重要である。
問／佐渡汽船株式会社に対する2・4億円の補助金について、航路維持の確約はあるのか。
答／各種経営改善策とともに第三者出資等による資本増強で、会社全体でこの航路を維持するとしている。



佐渡島 大野亀

なおえつうみまちアート 成果と見通しは

問／この事業の成果と今後直江津をどのように変えていこうとしているのかを聞きたい。
答／現代アートのイベントは初めてであるが、多くの人たちが、街のために自ら関わっていきこうとする気持ちの醸成ができたのではないかと。これからの交流や産業の中心となるよう取り組んでいく。



そらのみなど